

第14回例会報告(10月13日)

【出席報告】

・会員数 62名
 ・当日出席率 69.23%
 ・出席数 37名
 ・前々回修正出席率 100% 9回目
 ・欠席数 25名
 <欠席会員> 青野、原田、飯沼、伊藤、菅、吉良、小島、松木、宮本、越智(節)、尾越、佐伯、酒井、竹田寺町、矢野
 [免除会員] 原(真)、近藤(憲)、松本、村上(敬)、中川、坂本、白石(天)、高木、宇高
 <9/29欠席補填> (9/20川之江・伊予三島)冠 (9/24米山協)飯 (9/27IAC)越智(節)
 (10/3今治北)天野、日浅、檜垣(巧)、近藤(正)、西本、西信、佐伯、佐藤、竹田、寺町、吉武、矢野 (10/4今治南)越智(務) (10/11今治南)黒川、村上(裕)、渡邊(一)

会長報告・IM基調講演をお願いしている石毛宏典代表が来訪されました。
 幹事報告・回覧物：あすなる通信。

石毛 宏典氏 / 挨拶

今年4月よりアイランドリーグをスタートさせて頂きました。約100名の選手の夢はプロ野球です。地域に根ざし、監督、コーチ、選手は野球教室、ボランティア、就業体験を積むことにより、一層地元の方々と交流を深めていこうと思っています。来年以降は松山だけでなく愛媛県内で多くのゲームを展開していきたい。今治では最低5試合、多くて7~10試合を行いたい。皆様のご支援で私達のやる事業がある面では、ここにきて価値と感動を与えられるような事業になりつつあるのかなという気がします。四国の為はまだまだたくさん汗をかきたいし、野球を通じて四国を元気にしていきたいと強く思っています。今後ともご理解とご協力をお願い致します。

雑誌委員会報告・ロータリーの友タイム / 重松委員長

(横) P1: RI会長メッセージ、P5~16: 職業奉仕月間の関連記事 (P8: それでも四つのテストに照らして、P10: ロータリアンと純銀は同義語)、P22~24、P26~31、P32~33、P34~35、(縦) やればできる(小柴昌徹)等、をご熟読下さい。

ガバナー補佐随同行の報告 / 原竜也会員

9月9日伊予三島RC、10月7日西条RCに随行で出席しました。今治以外のRCは初訪問でしたが、高木ガバナー補佐から免疫学のお話を交えながら、他のRC訪問時の対応、考え方等貴重なアドバイスを頂きました。両クラブとも雰囲気もよく勉強になりましたが、狭い見地からですが、やはり雰囲気、時間管理等も自分のクラブが一番いいなと思いながら帰ってきました。



今治RC創立記念アワー / 渡辺 易廣会長

今治RCの創立は昭和9年10月17日、全国で13番目、四国では第一号クラブとして発足。会員数は創立時9名、チャーターナイト時20名、戦後再創設時23名。一番多かったのは85-86年度の72名。現在62名。この前ガバナーからも、時代の流れを見ると今治RCは健闘しているのではないかという評価を頂いております。今治RCがスポンサークラブとなったのは、松山、高松、高知、松山の再承認、新居浜、今治南、宇和島の再創立、今治北の各RCです。また昭和25年11月に四国協議会が開催され、この時、ロータリー精神を分かりやすく説明した本が欲しいとの要請を受け、今治RCの森光繁会員が「ロータリーの本」を執筆し発行しております。1967年7月、宮崎研一会員がガバナーに就任されました。来年度は39年ぶりに今治RCから飯ガバナーが就任されます。宮崎ガバナー時と同様、精一杯手助けをし、飯ガバナーが胸を張って活躍できるよう私達みんなが努力していかなければならないと思います。1968年には今治で年次大会が開かれ、当時はまだ第368地区ということで、兵庫県及び四国の71RCから1,300人余りの会員、家族をお迎えしています。ロータリーの根本は“社会のため、人のために出来るだけ奉仕をして更に社会的な地位を高めるため自己研鑽をする”ということではないかと思っております。クラブ計画書の最初のページ、「ロータリーの綱領」、「四つのテスト」この本質をしっかりと認識することが大切であろうと思います。



<ゲスト> 四国アイランドリーグ代表取締役 石毛 宏典氏

<来訪ロータリアン> 今治南RC 長谷部 安俊氏

次回例会(10月20日)

【米山委員会アワー】

卓話: 米山奨学生 李欣さん

<結婚記念日> 黒田 光正氏(10/20) 光藤 廣司氏(10/20)
 松木 徹夫氏(10/22)

[献立 : 寿屋]